

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：高等学校費 目：学校建設費

事業名 産業教育施設整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会教育財務課整備推進係 電話番号：058-272-1111(内8571)

E-mail：c17773@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 183,216 千円 (前年度予算額： 309,128 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	309,128	32,920	0	0	0	0	0	247,900	28,308
要求額	183,216	59,935	0	0	0	0	0	110,900	12,381
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

<産業教育施設の整備>

- ・近代農業の教育を展開していくため、老朽化した産業教育施設を改築する。

(2) 事業内容

<産業教育施設の整備>

- ・老朽化している岐阜農林高等学校の温室を近代のスマート農業の教育ができるよう改築し、整備を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国1／3（産業教育施設整備事業の交付金を活用する）
- ・県2／3（県立学校の整備のため県負担とする。但し産業教育施設整備事業の交付金を差し引いた金額とする）。

(4) 類似事業の有無

- ・大垣養老高等学校（伴侶動物舎）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,000	実施設計（0） 工事監理（3,000）
工事請負費	179,806	
事務費	410	
合計	183,216	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育ビジョン
基本方針4 「学びの多様なニーズに応える環境」の充実
目標20 将来を見据えた魅力ある学校づくりの推進

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県立学校の施設や設備を整備することで、児童生徒の安全を確保し、安心して学べる学習生活環境を維持・向上させる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標	達成率
産業教育施設整備事業	-	0	1	1	-	-

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和5年度	・大垣養老高等学校の伴侶動物舎等の改築を実施した。
	指標① 目標：1 実績：1 達成率：100 %
令和6年度	なし
令和7年度	令和9年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	県立学校施設は年々老朽化が進んでおり、学校で学ぶ児童生徒の安全を確保し、安心して学べる環境を提供するために、学校施設や設備の整備に関連する工事等は必須の事業であり、必要性は高まっている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	学校施設や設備の整備に関する工事等を実施することで、県立学校で学ぶ児童生徒の安全を確保し、安心して学べる環境を提供できている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	整備の緊急性や必要性を総合的に判断し、整備箇所の優先順位を付けたうえで効率的に整備している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 校舎（産業教育振興校舎を除く）、体育館、部室等は劣化が進んでいるものが多いため、整備必要箇所は年々増加するものと考えられる。
--

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 整備の緊急性や必要性を総合的に判断し、整備箇所の優先順位を付けたうえで効率的な整備を図る。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	-
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	-